

～伊豆観光列車「THE ROYAL EXPRESS」～
「美しさ、煌めく旅」を提供するクルーズプランの概要を発表
列車内の料理・飲料監修者も決定

伊豆急行株式会社
東京急行電鉄株式会社

伊豆急行株式会社と東京急行電鉄株式会社は、本年7月に運行開始予定の伊豆観光列車「THE ROYAL EXPRESS」について、約100席のうち、30席分を宿泊と観光を組み合わせた1泊2日のクルーズプランとして限定販売することを決定しました。合わせて、列車内で提供する料理・飲料の監修者を決定しました。

クルーズプランは、「煌めく伊豆、美しさを感じる旅」をコンセプトに、上質なサービスやおもてなしを提供する6つの旅館・ホテルの貴賓室・スイートルームでの宿泊をご用意します。

また、2400年の歴史を持つ伊豆最古の神社である白濱神社での特別な正式参拝や1854年に日米和親条約の付属協定である下田条約締結の舞台となった了仙寺の住職による解説付きの特別拝観など、本プランだけの特別な観光もお楽しみいただく予定です。

列車内で提供する料理は、素材や生産者にこだわり、「食」を通じた地域活性化に取り組み、独自の感性でお客さまを感動させる料理を提供する「山田チカラ」(東京・南麻布)の山田チカラ氏と「方寸」(大分市)の河野美千代氏の2名が監修します。

また、料理を彩る飲物については、世界最高品質のコーヒーを追求している「micafeto(ミカフェート)」の川島良彰氏、国内初の燻製紅茶を提供する「カネロク松本園」の松本浩毅氏が監修します。

両社は、本列車を通じて、世代を超えた一人ひとりのお客さまに憧れを持っていただける豊かな時間の過ごし方を提供し、記憶に残る旅をお手伝いすることで、伊豆地域の魅力を国内外に発信していきます。

クルーズプランおよび料理・飲料監修者の詳細については、別紙の通りです。

以 上

【別紙】

クルーズプランおよび料理・飲料監修者の詳細

1. クルーズプランについて

(1) 行程イメージ

1日目



(1日目の行程概要)

横浜駅にて THE ROYAL EXPRESS にご乗車。上質な列車内で生演奏を聴きながら静岡の素材を使ったお料理を。食後の THE ROYAL EXPRESS オリジナルのコーヒー、紅茶を味わいながら伊豆の素晴らしい海を車窓からお楽しみください。終着駅の伊豆急下田駅では情緒ただようレトロの街「下田」を散策、エメラルドグリーン的大海とまぶしいくらいの白浜に鎮座する2400年の歴史をもつ白濱神社にて特別拝観などへご案内します。観光後、伊豆の自然や歴史・文化を感じることができる宿にご宿泊いただき、温泉や地元の食をご堪能ください。

2日目



(2日目の行程概要)

それぞれの宿で朝食をお召し上がりいただき、THE ROYAL EXPRESS にご乗車。

伊豆高原駅で下車し、伊豆高原駅でのイベントを楽しんでいただくとともに、大室山の景色を眺め、南の海で生まれ本州と衝突して生まれ世界的にも貴重な伊豆半島のジオの魅力に触れあいます。

伊豆高原駅にてランチをお召し上がりいただき、伊東を経て、旅の終着地横浜へ。

※行程は現時点で計画しているものであり、今後変更になる場合がございます。

(2) 販売時期および方法などについて

販売時期 : 4月下旬以降に開始予定。

販売方法 : ホームページ・ハガキでの申込み後、抽選での販売。

販売価格 : 10万円台(1泊2日/お一人さま)を予定。

※宿泊先および観光内容により、異なります。

プランの全容および価格の詳細は4月頃に発表予定です。

販売席数 : 30席

※残り約70席は、列車乗車のみ(車内サービス含む)での販売を予定。

(3) 宿泊先旅館およびホテルの概要

<河津エリア>

①玉峰館 宿泊部屋タイプ: 露天風呂付き離れ 和洋室 51.2㎡など

奈良時代から湧き出たとされる霊泉の伝説を受け継いだ峰温泉。1926年(大正15年)に創業、今も絶えることなく霊泉が湧き上がり続けており、その湯けむりはお客さまを温かく包み込んでいる。

2013年、インテリアデザイナーとして2007年に初めて紫綬褒章を受章した内田繁氏のプロデュースにより「古き、新しき、極み」をコンセプトにリニューアル。伝統を残しながら革新的なデザインを取り入れた、日本旅館ならではの“寛ぎの極み”の空間を提供する。河津桜など、四季折々の美しい景色を臨める日本庭園では、独創的な光の演出により、自然と光の融合した幻想的な世界を堪能できる。



②伊豆今井浜東急ホテル 宿泊部屋タイプ: ロイヤルスイート 展望風呂付き 115㎡など

日常の喧騒を忘れられる自然豊かな東伊豆に位置するリゾートホテル。ホテル目の前から広がる、美しい青い海と白い砂浜の今井浜海岸はまるでプライベートビーチのよう。

水平線に浮かぶ伊豆七島の島影、今井浜に浮かぶ月光“ムーンロード”、夜空一面に瞬く星など、非日常の癒しの風景が迎えてくれる。



<蓮台寺エリア>

③清流荘 宿泊部屋タイプ: 源泉掛け流し露天風呂付 貴賓室 128㎡など

蓮台寺温泉の名湯宿。6,000坪の敷地の中に、趣きが異なる4つの宿泊棟があり、客室は全26室。歴史と伝統、気品漂うおもてなしの心を継承しながらも、上質な癒しの空間を提供している。

1937年(昭和12年)の創業以来、これまで名だたる文人墨客や国内外の貴賓などに愛され、カーター元米国大統領など多くの著名人が訪れた老舗旅館。

凜とした意匠の貴賓室は「貴賓」の名に恥じないゆとりある空間と気品を大切にしており、自然が語りかける部屋付露天風呂で、思う存分源泉掛け流しの名湯が堪能できる。



④大地の彩 花月亭 宿泊部屋タイプ:源泉かけ流し 露天風呂付 貴賓室 100㎡など

300坪もの広大な日本庭園を持つ、純和風の旅館として、1927年(昭和2年)に創業。より愛される旅館を目指し、1,500坪の敷地にわずか21室の旅館として、2007年にリニューアルを実施。

日本庭園を囲むように創られた数寄屋作りの2階建て建物は、回廊型で、周囲の自然と調和し、独特の風情がある。広々とした客室からは、日本庭園が臨め、心を落ち着かせてくれるとともに、ゆっくりと時間が刻まれた作庭は、まさに心落ち着く日本の情緒、静かで優美なひと時を提供する。



<下田エリア>

⑤別邸 洛邑 宿泊部屋タイプ:露天風呂付き オーシャンビュー スイートルーム 66㎡など

時を忘れる、至高の隠れ宿。客室はわずか8部屋で、全室スイートルームとなっており、至高の贅沢と、非日常な時間を味わいたい大人が訪れる隠れ宿。目の前には、ホワイトビーチが広がるオーシャン・フロントの絶景が広がり、「日本にもまだこんな場所があったのか」と思わせるような、美しい眺めです。



⑥下田東急ホテル 宿泊部屋タイプ:ロイヤルクラシカルスイート 66㎡など

下田市街地より程近い、風光明媚な海辺の高台に佇むリゾートホテル。神秘的なナティエブルーの海と水平線に浮かぶ伊豆七島の眺めは正に絶景。客室は眺望と寛ぎを重視した、リゾートならではの快適な空間が広がります。

1962年の開業以来、下田を象徴するリゾートホテルとして愛されてきた「下田東急ホテル」は全館改装を経て、2017年4月21日(金)リニューアルオープンです。



2. 料理および飲料監修者

(1) 料理監修者

① 山田チカラ氏【「山田チカラ」 (東京・南麻布)】

静岡県出身。世界で最も予約の取れないレストランといわれたスペインの3つ星レストラン「エル・ブジ」でフェラン・アドリア氏に1年半ほど師事。

素材をムース状にする「エスプーマ」を使った料理を日本で広めた先駆者としても知られる。

料理人という立場だけでなく、自ら産地を渡り歩き、食材と消費者を繋ぐことにも取り組む。



② 河野美千代氏【「方寸」 (大分市)】

大分県出身。大地から育まれた食材に向きあい、「食」と受け継がれる「文化」を提案。

和にこだわらず創意工夫した料理で出張料理など、「食」に関する商品開発のコーディネイト・監修も手がける。



(2) 飲料監修者

① 川島良彰氏【株式会社ミカフェート】

静岡県出身。1975年中米エルサルバドル国立コーヒー研究所に留学し、コーヒー栽培・精選を学ぶ。その後大手コーヒー会社に就職。ジャマイカ、ハワイ、インドネシアで農園開発を手掛け、マダガスカルで絶滅危惧種の発見と保全、レユニオン島では絶滅した品種を探し出し、同島のコーヒー産業復活を果たす。

2008年に独立し、株式会社ミカフェートを設立。自然環境と人権を守りながらおいしいコーヒー作りに励む生産者の市場をつくり、全ての行程に妥協せず、世界最高品質のコーヒーを追求している。



② 松本浩毅氏【カネロク松本園】

静岡県出身。静岡県でも有数の茶産地である牧之原台地にてお茶の生産を生業としている。

約200年前の江戸時代に荒地を開墾してお茶の生産を始め、世界農業遺産に登録された環境保全にも貢献する「静岡の茶草場農法」を継承し、伝統的な日本茶だけでなく、農薬不使用栽培による紅茶・烏龍茶にも取り組んでいる。

